

合同会社 夢の根

自然災害発生時における 業務継続計画（BCP）

令和5年4月1日 施行

法人名	合同会社 夢の根	代表者	大西 泉
所在地	大分市王ノ瀬2丁目11-17	電話番号	097-511-7806

自然災害（地震、台風等）発生時における事業継続計画

（法人名） 合同会社 夢の根

（施設名）

放課後等デイサービス 夢の木

放課後等デイサービス 夢の実

放課後等デイサービス 夢の葉

放課後等デイサービス 夢のつばさ

放課後等デイサービス 夢のとびら

保育所等訪問支援 夢のつばさ

I 総論

（1）基本方針

2011年3月11日、東日本を巨大な地震と津波が襲った。私たちが住む大分市も非常に高い確率であと数十年のうちに東日本で発生した地震・津波と同等若しくはより大きい地震・津波が起これと予想されている。

いざというときのために、合同会社 夢の根 の各事業所は、地域等の事情を考慮した上で、ご利用者や職員一人一人の尊い命を守り、事業が安定的に継続できることを目的として事業継続計画（BCP）を作成する。

（2）推進体制

（災害対策本部 体制）

体制	役割	リーダー	サブリーダー
本部長	全体の統括、指揮調整	代表社員	運営統括部
情報連絡班	地震・津波情報の入手 被害（被災）状況の把握	運営統括部	
救護・看護班	負傷者の応急救護 ご利用者の看護等	管理者	主任
避難・誘導班	ご利用者の避難誘導 初期消火	管理者	主任
総務班	資機材調達 各種必需品管理 地域住民の避難受け入れ	運営統括部・管理者	役職全員

（災害対策本部 役割分担）

本部 本部長 代表社員 副本部長 事務長	・防災業務の適切な実施を図るため、災害応急対策を遂行する ・災害応急対策について指揮を行う （本部長不在時は副本部長が指揮を執る）
-----------------------------------	---

情報連絡班	・市町村災害対策本部、消防署、警察署などと連絡を取り、情報を入手のうえ本部長に報告する ・各班に情報提供 ・家族に状況を連絡 ・マスコミ取材対応と情報提供 ＊非常時の緊急連絡先一覧表を参照
救護・看護班	・負傷者の救出および安全な場所への移動 ・応急手当及び病院などへの移送・搬送 ＊非常時の緊急連絡先一覧表を参照
避難・誘導班	・ご利用者の安全確認、ご利用者に情報を提供 ・施設設備の破損状況も調査、写真撮影（保険請求に必要）、報告、応急処置 ・本部長の指示に基づきご利用者の避難 ・家族等への引き渡し ・火元の点検、ガス漏れの有無を確認 ・発火防止と発火の際の初期消火
総務班	・津波避難ビルの避難者の受け入れ ・福祉避難所の避難者の受け入れ ・ボランティア受け入れ体制の整備 ・食料、飲料水、トイレ、衛生用品などの確保 ・炊き出しの準備

（３）リスクの把握

①別紙ハザードマップ 資料１～資料５

②施設一覧及び被害想定

<放課後等デイサービス 夢の木>

住所	大分市大字横田４６番地の４
施設の構造	木造戸建て
海拔	約１４ｍ
地震予想	震度６弱
津波予想	大分市の津波浸水予想図では０ｍの範囲となっており、最悪を想定して１ｍで検討する。
津波到達時間	到達時間は３０分で検討する。
液状化	液状化は少ない地域になっているが液状化が発生することを想定する。
その他	全施設総合避難所・備蓄あり

<放課後等デイサービス 夢の実>

住所	大分市王ノ瀬２丁目１１－１７
施設の構造	木造戸建て
海拔	約３ｍ～４ｍ

地震予想	震度 6 弱
津波予想	大分市の津波浸水予想図では 0.5 m ～ 1 m の範囲となっており、最悪を想定して 2 m で検討する。
津波到達時間	到達時間は 15 分で検討する。
液状化	液状化は少ない地域になっているが液状化が発生することを想定する。
その他	震度 3 以上の地震が来た場合にはすぐに避難場所に避難する。

<放課後等デイサービス 夢の葉>

住所	大分市大在中央 2 丁目 8 番 3 号
施設の構造	木造戸建て
海拔	約 6 m
地震予想	震度 6 弱
津波予想	大分市の津波浸水予想図では 0 m の範囲となっており、最悪を想定して 1 m で検討する。
津波到達時間	到達時間は 30 分で検討する。
液状化	液状化は少ない地域になっているが液状化が発生することを想定する。
その他	震度 3 以上の地震が来た場合にはすぐに避難場所に避難する。

<放課後等デイサービス 夢のつばさ>

住所	大分市横田 1 丁目 2 1 番 4 1 号 NIPPO 中央 201
施設の構造	鉄筋コンクリート造 2 階
海拔	約 6 m
地震予想	震度 6 弱
津波予想	大分市の津波浸水予想図では 0 m の範囲となっており、最悪を想定して 1 m で検討する。
津波到達時間	到達時間は 30 分で検討する。
液状化	液状化は少ない地域になっているが液状化が発生することを想定する。
その他	震度 3 以上の地震が来た場合にはすぐに避難場所に避難する。

<放課後等デイサービス 夢のとびら>

住所	大分市大在中央 2 丁目 6 番 32 号
施設の構造	木造戸建て
海拔	約 7 m
地震予想	震度 6 弱
津波予想	大分市の津波浸水予想図では 0 m の範囲となっており、最悪を想定して 1 m で検討する。
津波到達時間	到達時間は 30 分で検討する。
液状化	液状化は少ない地域になっているが液状化が発生することを想定する。
その他	震度 3 以上の地震が来た場合にはすぐに避難場所に避難する。

③インフラの状況

交通被害

道路：国道、主要県道など幹線道路は全面通行止め。その後、緊急車両のみ通行可能となる。

大分市大在地域は海岸に近く、液状化の恐れのある地域が多く存在するので、家屋や電柱の倒壊などが多く発生することが想定される。もともと公共的な交通機関の少ない地域であり、自動車の利用がほとんどであるが、家屋や電柱の倒壊、液状化により交通は遮断される。

きょうりゅう

橋梁：液状化の影響等があり、橋梁は倒壊する可能性が高い。

ライフライン

上水：地震および液状化の影響があり、上水管は破壊され長時間（３０日程度）の断水が想定される

下水：合併浄化槽は地中にあり破壊は免れそうであるが、電気設備及び建物から合併浄化槽への配管が破壊されて長時間（３０日程度）使用ができなくなる可能性が高い

電気：キューピクル（変圧器）は建物内にあり、破壊は免れそうだが、電柱の倒壊により長期間（最低でも１カ月）の停電が生じる

ガス：プロパンガスを使用しており、津波の襲来があればガスボンベは流されて使用できなくなる。道路等の復旧によりガスボンベを設置する。（最低でも１週間程度）

通信：電柱の倒壊により電気は来なくなるので長期間の停電が発生する。スマホは基地局が復旧すれば簡易充電器の使用で早期に復旧する。（１～２週間程度）

④自施設で想定される影響

	当日	２日目	３日目	４日目	５日目	６日目	７日目	８日目
電力	自家発電							復旧
食料	備蓄		行政機関からの救援物資					
飲料水	備蓄		行政機関からの救援物資					
生活用水	備蓄		行政機関からの救援物資					
ガス	卓上ガスコンロ等							復旧
携帯電話	被災後の混乱が収まれば使用可能							復旧
メール								復旧
浄化槽	修理には２週間程度を要すると思われる							
おむつ等	備蓄							配達

（４）優先業務の選定

①優先する事業

○ゆめのね保育園

○各放課後等デイサービス事業（ただし建物が崩壊した施設などを除く）

早期に再開する近隣の行政機関：大在市民行政センター

②優先する業務

職員数	出勤率30%	出勤率50%	出勤率70%	出勤率90%
優先業務の基準	生命を守るための必要最低限	食事、排泄中心、 その他は減少・休止	ほぼ通常、一部 減少・休止	ほぼ通常
食事の回数	減少	減少	朝・昼・夕	ほぼ通常
食事介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
排泄介助	必要な方に介助	必要な方に介助	必要な方に介助	ほぼ通常
入浴介助	なし	なし	なし	なし
訓練等	休止	必要最低限	必要最低限	ほぼ通常
医療ケア	必要に応じて	必要に応じて	必要に応じて	ほぼ通常
洗濯	なし	なし	なし	なし
送迎	なし	なし	部分的送迎あり	ほぼ通常

(5) 研修・訓練の実施、BCPの検証・見直し

①研修・訓練の実施

(自然災害)

内容	主な目的	対象	実施時期
避難訓練	・地震災害等対応マニュアルの妥当性の検証と避難経路の確認	全職員	年1回
研修	・南海トラフ地震や風水害など、災害に関する基礎知識を養う	全職員	年1回

(感染症)

内容	主な目的	対象	実施時期
委員会	・感染防止及びまん延防止策の検討	委員	年4回
訓練	・感染予防及びまん延防止対策の訓練	全職員	年2回
研修	・感染予防及びまん延防止対策の研修	全職員	年2回

②BCPの検証・見直し

避難訓練等を行った内容の評価に基づいて毎年1回更新する。

ただし、事業継続に関わる運営環境に変化があった場合は適宜更新する。

2 平常時の対応

(1) 建物・設備の安全対策

①建物・設備の耐震措置

対象	対応策
建物	建物自体は「建材」であるが、天井の一部が落下したり、蛍光灯・窓ガラスの一部が落下、飛散する被害が発生する。

	→窓ガラスには飛散防止フィルムを貼付する。
設備関連	固定していない設備・什器類が移動・転倒する。 プロパンガスは、緊急停止する。 停電により電気が必要な設備は使用不可となる。
IT関係	固定していないパソコンやサーバーが転倒・破損する。 バックアップをとっていないパソコンデータが失われる。 →業務に関するデータのバックアップは、代表社員・運営統括部・各管理者がバックアップを行う。

②水害・風対策

＊大分県発表の南海地震後の津波の最大高は3 mであり、これを基準として検討する。

台風時の水害は高潮が考えられる。強風（竜巻）などによるガラスの破損が考えられる。

対象	対応策
夢の木	地震発生の場合には、すぐに中央に集まり落下物や窓ガラスなどから身を守るようにする。水害の心配はない。 強風等によるガラスの破損がある場合には、その部屋の使用はやめて、窓からできるだけ遠くに避難する。
夢の実	地震発生の場合には、すぐに中央に集まり落下物や窓ガラスなどから身を守るようにする。海から近いため、地震がおさまり次第すぐに避難場所への避難を開始する。 強風等によるガラスの破損がある場合には、その部屋の使用はやめて、窓からできるだけ遠くに避難する。
夢の葉	地震発生の場合には、すぐに中央に集まり落下物や窓ガラスなどから身を守るようにする。海から近いため、地震がおさまり次第すぐに避難場所への避難を開始する。 強風等によるガラスの破損がある場合には、その部屋の使用はやめて、窓からできるだけ遠くに避難する。
夢のつばさ	地震発生の場合には、すぐに中央に集まり落下物や窓ガラスなどから身を守るようにする。海から近いため、地震がおさまり次第すぐに避難場所への避難を開始する。2階にあるため階段を降りる際には十分に注意する。強風等によるガラスの破損がある場合には、その部屋の使用はやめて、窓からできるだけ遠くに避難する。
夢のとびら	地震発生の場合には、すぐに中央に集まり落下物や窓ガラスなどから身を守るようにする。海から近いため、地震がおさまり次第すぐに避難場所への避難を開始する。 強風等によるガラスの破損がある場合には、その部屋の使用はやめて、窓からできるだけ遠くに避難する。

（２）電気が止まった場合の対策

災害時の自家発電機器はそれぞれの施設には設置されていない。

復旧するまで待つ。

（３）ガスが止まった場合の対策

通常時にガスを使用することはないため、復旧を待つ。

（４）水道が止まった場合の対策

避難場所（放課後等デイサービス 夢の木）に飲料水を備蓄している。

生活用水については、復旧を待つ。

（５）通信が麻痺した場合の対策

回線が遮断した場合には、スマートフォンでの電話、メール、Lineを使用する。

災害時には、業務用のスマートフォンを使用し安否確認等連絡に用いる。

また職員個人が保有するスマートフォンを使用することもある。

【業務用スマートフォン】

夢の木 ０９０－４５０４－９２０２

夢の実 ０９０－４５０５－８２８８

夢の葉 ０９０－８６９８－３４０３

夢のつばさ ０９０－５９１２－８８４４

夢のとびら ０８０－８６３６－７４６０

（６）システムが停止した場合の対策

運営統括部および各管理者は、パソコンやデータのバックアップを常にとるようにし、避難場所に定期的に保管するものとする。

運営統括部は、避難時にパソコンを持ち出す。

（７）衛生面（トイレ等）の対策

①トイレ対策

利用者・職員とも、おむつ使用者以外は水洗トイレの使用ができなくなるので、ポータブルトイレ及び簡易トイレで対応する。電源が切れている間は浄化槽が使用できないので、トイレ処理剤を用いて汚物凝固処理を行う。

②汚物対策

汚物の凝固処理したもの（ポリ袋入り）の廃棄場所を決めておく。汚物の凝固処理したものは、可燃物として復旧後に処理を行う。

使用済みのおむつ等は、ポリ袋に入れて、廃棄場所に保管する。復旧後は、可燃物として処理を行う。廃棄場所は近隣住民に配慮して決定する。

（８）必要品の備蓄

必要品の備蓄は、各施設での備蓄とし、全体としては法人本部避難場所（放課後等デイサービス夢の木）にて一括での保管を行う。不足する場合、被災時には危険がなくなった時点で、自動車またはリヤカーを使用して各施設に配布する。

最低でも、ご利用者１２０名＋職員５０名 合計１７０名の３日分の保管が必要である。

（９）資金手当て

手元資金は大分県信用組合 大在支店 にて確認する。

3 緊急時の対応

（１）BCP発動基準

【地震・津波による発動基準】

・大分県内において震度５以上の大地震が発生し、近隣地域及び法人内の各施設において被害が発生したときに発動する。

・地震による津波の襲来があり、法人内の各施設のインフラ等が遮断されたときに発動する。

【台風・水害の場合当（竜巻）】

・台風等の直撃を受け、法人内の各施設のインフラ等が遮断されたときに発動する。

（２）行動基準

震度５以上の地震が発生した場合には、本部長の判断にかかわらず、以下の通り初動対応を行う。

○発生直前

スマホ、テレビ等で緊急地震速報があれば、総務班職員が身の安全を守りながら「強い地震が発生します。強い揺れに注意してください。」と全員に周知する。

○発生時

職員は頭部を守り、揺れが収まるまで待つ。待っている間に可能な限り大きな声で利用者に「地震が発生しました。頭を守ってください。落ち着いてください。何かにつかまってください。」などの声をかける。

大きな揺れを感じたら周囲に大きな声で注意を促し、机の下などに隠れ頭を守る。自身の身を守る。

○発生直後

揺れがおさまれば次の強い揺れに注意しながら、ご利用者、職員の安全確認の上、避難場所に誘導、建物の破壊状況、火災の有無の確認を同時に行い、状況を災害対策本部に報告する。

○送迎、研修、外出時

施設外にいる職員は周囲の安全確保、ご利用者の避難を周囲の方と協力して行い、安全な場

所で待機する。電話やメール、伝言ダイヤル等を利用して状況を速やかに上司や対策本部に連絡し指示に従う。

○勤務外の職員

勤務外の職員は、自身の安全確保、周囲の安全確保、事業所付近の安全確保ができれば事業所に参集する。安否確認や参集の可否については、電話やメール、伝言ダイヤル等で確認する。

(3) 対応拠点

放課後等デイサービス 夢の木
ゆめのね保育園

(4) 安否確認

①利用者の安否確認

【送迎時・外出時等の安否確認ルール】

○地震発生直後は、車両を停止させる。周囲を確認し、安全であるか状況を確認する。

○乗車中の利用者がいれば、利用者の安全確認を行う。

↓

○地震の揺れが落ち着けば、車両を安全な場所に移動する。最悪、車両は放棄してご利用者を第一に守る。車両には鍵をつけて避難する。＊津波の危険性があれば、高台に避難する

↓

○安全が確保できれば、施設やご家族に連絡をとる

・電話またはメールで上司に連絡する

・災害発生時にNTTが開設する災害伝言ダイヤル「171」の使い方

(伝言の録音方法)

「171」にダイヤルする 「1」をダイヤルする

(伝言の再生)

「171」にダイヤルする 「2」をダイヤルする

↓

○事業所、ご家族に連絡が取れれば、協議の上、安全を確認しながら施設若しくはご家族の元に移動する。この時、完全に津波がおさまったことを確認する。安全を最優先にして判断する。

【医療機関への搬送方法】

近隣に医療機関が機能しておらず、治療の必要性が見込まれるご利用者等がいる場合には、代表社員等に相談の上、大分県災害医療対策本部（県医療本部）に要請して搬送するか検討する。南海トラフ大地震の際には、大分県内で重症患者が多く見込まれており、搬送までに時間を要することが考えられるので、応急処置を行うことも想定した準備をしておく。

②職員の安否確認

【施設内】

当日のシフト表で全職員の安否を確認する。

【自宅等】

安否確認や参集の可否については、電話やLine、メール、伝言ダイヤルで連絡する。

（５）職員の参集基準

地震の場合

行動基準	判断	参集人員	連絡体制
震度４	待機	代表社員の判断により参集を要する職員に連絡を入れる	非常時の緊急連絡先一覧表
震度５	警戒参集	各管理者 対策本部各班責任者	非常時の緊急連絡先一覧表 可能であれば施設への到着時間を連絡する。
震度６以上	非常参集	連絡なくとも全職員参集	

*参集にあたっては、本人及び家族の人名が第一であり、危険と判断される間は参集しなくてよい。

（６）重要業務の継続

当法人において災害発生時に優先して行う業務については、必要となる業務（重要業務）を絞り込んだうえで、災害発生時も休止せず継続して実施する。

その他事業については、目標復旧時間は定めず、状況を見ながら災害対策本部長が再開の判断を行う。

施設名	事業継続	考慮すべき事象	目標復旧時間
放課後等デイサービス 夢の木	継続	職員の人員不足 ライフラインの停止	
放課後等デイサービス 夢の実	休止	道路寸断等による 受け入れ困難	７日程度
放課後等デイサービス 夢の葉	休止	建物倒壊等により 受け入れ困難	７～３０日
放課後等デイサービス 夢のつばさ	休止	職員の人員不足 ライフラインの停止	７日程度
放課後等デイサービス 夢の葉	休止	建物倒壊等により 受け入れ困難	７～３０日

（７）職員の管理

①勤務シフト

【災害時の勤務シフト原則】

震災は発生後、職員が長期間帰宅できず、長時間勤務となる可能性がある。参集した職員の数により、なるべく職員の体調および負担の軽減に配慮して勤務体制を組むよう災害時の勤務シフトの原則を検討しておく。

出勤率30% 代表社員 役員 運営統括 各管理者
 出勤率50% 役職を含む
 出勤率70% 正職員を含む
 出勤率90% 非常勤職員を含む

(8) 復旧対応

①破損個所の確認

<建物・設備の被害点検シート例> 別紙シートあり

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大/軽微/問題なし	
	エレベーター	利用可能/利用不可	
	電気	通電/不通	
	ガス	利用可能/利用不可	
	水道	利用可能/利用不可	
	電話	通話可能/通話不可	
	インターネット	利用可能/利用不可	
	トイレ・浄化槽	利用可能/利用不可	
職員室	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	棚	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	
指導訓練室	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	棚	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	
個室	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	棚	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	

	照明	破損・落下あり/被害なし	
--	----	--------------	--

②業者連絡先一覧の整備

業者名	連絡先	業務内容
九州電力大分支店	097-536-4130	電気・ブレーカー
豊後プロパン	097-521-3210	ガス
日豊土地建物	097-593-1318	建物全般
大分市水道局	097-538-2416	大分市水道局

③情報発信（関係機関、地域、マスコミ等への説明・公表・取材対応）

- ・市町村災害対策本部、消防署、警察署などと連絡をとり、情報を入手の上災害対策本部長（業務執行理事）に報告する。
- ・通信回線の復旧後できるだけ早く地域、ご家族に状況を説明する。
- ・マスコミ等への説明・公表は、人的な被害および建物に大きな損傷がある場合に行う。

4 病院・地域等との連携

（1）連携体制の構築

【連携関係のある医療機関】

谷村小児科 097-524-3533

坂ノ市病院 097-574-7722

①ご利用者・地域利用者情報の整理

- ・ご利用者の情報は各施設で保有している。特に病気や服薬情報には留意をして被災時には第一に確認して対応する。

5 地域との連携

①福祉避難所開設の事前準備

【福祉避難所等としての役割】

地震、台風などの自然災害時には、地域のみなさんとの連携が必要です。地域の皆さんが避難してきた場合には可能なかぎり受け入れることとする。受け入れは大分市の要請に基づいて行う。また、施設内のボランティアに協力を求めることとする。

6 通所サービス固有事項

【台風等が予想される場合の対応】

当日（明日）のご利用者又はご家族に対して事情を説明し、当日の天候次第により、送迎時間等が希望に添えない可能性やサービス敵協の有無を連絡することを伝える。

【台風等への対応】

- ・サービス困難と予測される場合

ご利用者にサービス提供中止を連絡する。ただし、ご家族や住居の状況・環境等により、サービス提供を行うほか安全と考えられる場合は、大分市障害福祉課と協議の上、送迎時の安全配慮等を行い、サービス提供を行う。

- ・サービス困難と予測しにくい場合

サービスを提供することを連絡する。なお、ご利用者の安全確保のため、通常より早い時間帯での送迎になるかもしれないことを伝える。

- ・サービス困難と予測しない場合

ご利用者に連絡し、通常通りサービスを提供することを伝える。

【地震・災害発生時の対応】

①地震発生直後には、車両を停止させる。周辺を確認し、安全であるのか状況を確認する。

（乗車中の利用者様がいれば、ご利用者の安全確認を行う）

②地震の揺れが落ち着けば、車両（利用者）を安全な場所に移動する。最悪、車両は放棄してご利用者を第一に守る。車両には鍵をつけて避難する。

＊津波の危険性があれば、最寄りの高台に避難する

③車両（ご利用者）の安全が確保できれば、施設、ご家族に連絡を取る。

- ・電話またはメールで施設及び上司に連絡
- ・災害伝言ダイヤルを活用する
- ・事前に担当部署で連絡の方法を確認し、話し合っておく

④事業所、ご家族等に連絡が取れば協議の上、安全を確認しながら施設若しくは自宅（ご家族のもと）に移動する。

このとき津波が完全におさまったことを事業所等において確認するなど、安全を最優先にして判断する

（負傷者がいる場合には、安全を最優先し病院に搬送できるように努める）

＊令和5年4月1日 施行

＊令和6年4月1日 改定

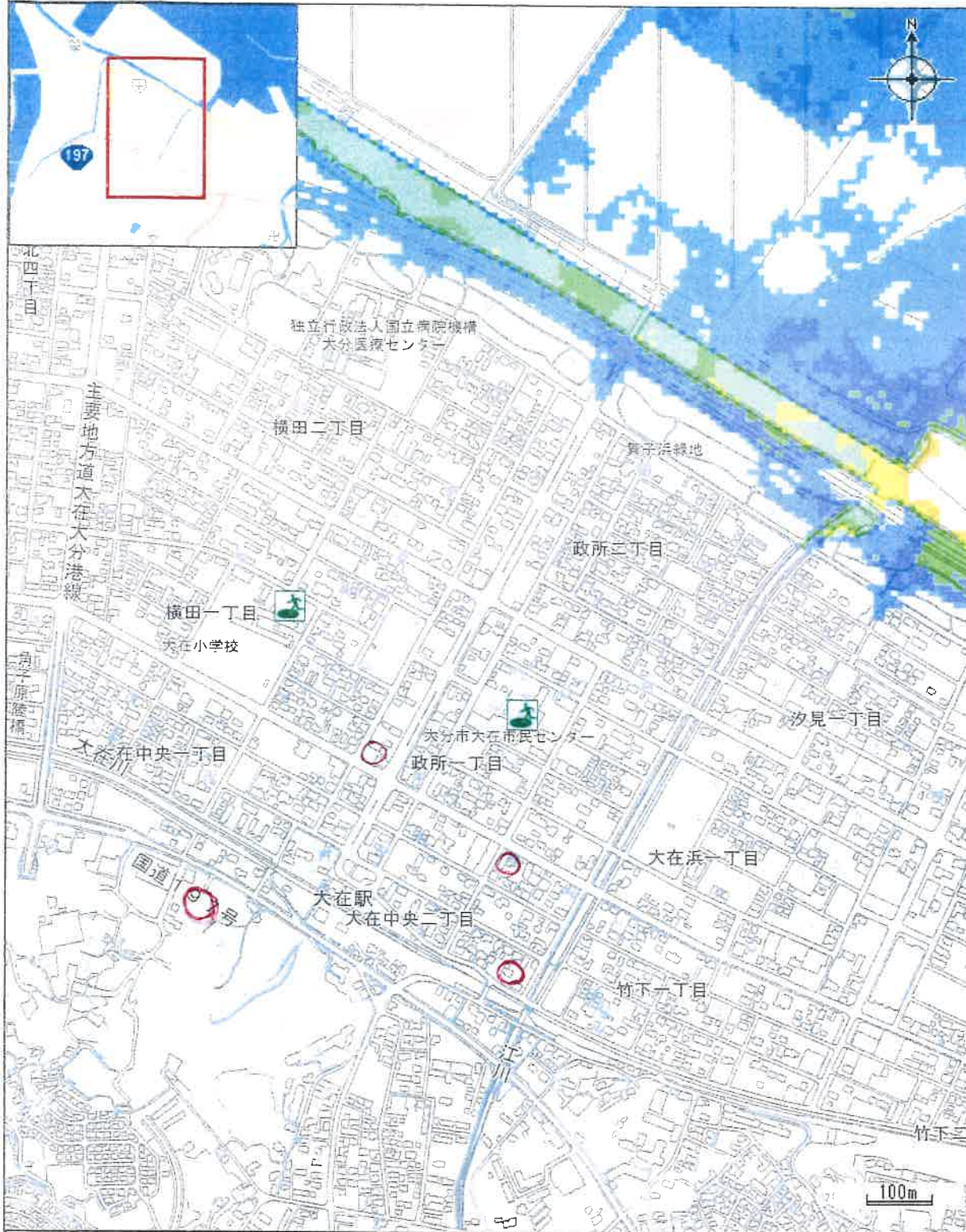
<建物・設備の被害点検シート>

対象		状況（いずれかに○）	対応事項/特記事項
建物・設備	躯体被害	重大/軽微/問題なし	
	エレベーター	利用可能/利用不可	
	電気	通電/不通	
	ガス	利用可能/利用不可	
	水道	利用可能/利用不可	
	電話	通話可能/通話不可	
	インターネット	利用可能/利用不可	
	トイレ・浄化槽	利用可能/利用不可	
職員室	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	棚	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	
指導訓練室	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	棚	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	
個室	ガラス	破損・飛散/破損なし	
	棚	転倒あり/転倒なし	
	天井	落下あり/被害なし	
	床面	破損あり/被害なし	
	壁面	破損あり/被害なし	
	照明	破損・落下あり/被害なし	

津波ハザードマップ

中心地 | 大分市政所1丁目 付近

資料 1.



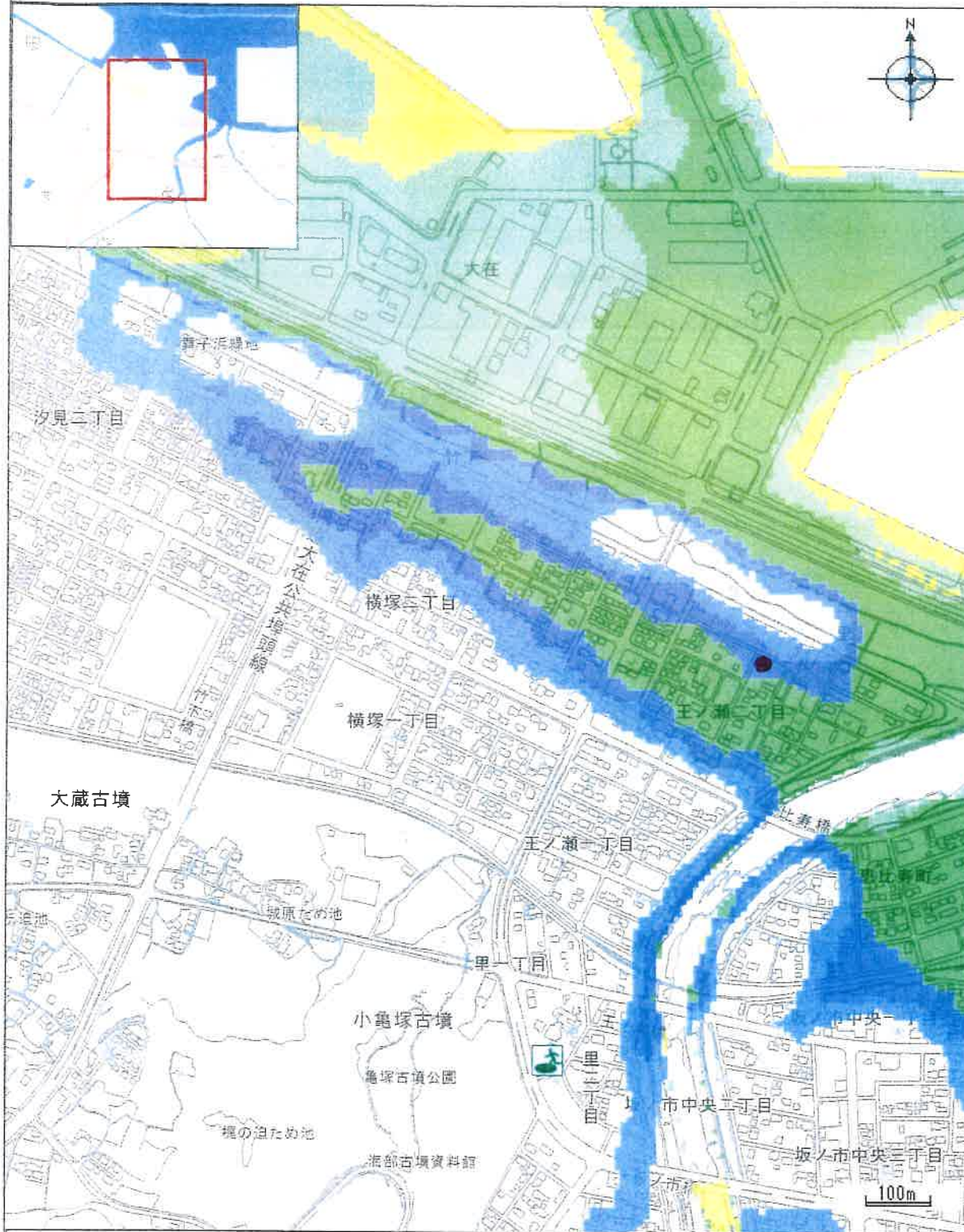
0m以上 ~ 0.5m未満 0.5m以上 ~ 1m未満 1m以上 ~ 2m未満 2m以上 ~ 3m未満
3m以上 ~ 4m未満 4m以上 ~ 5m未満 緊急避難場所兼避難所

印刷日時:2024/03/23 18:32:19

津波ハザードマップ

中心地 | 大分市横塚1丁目 付近

資料 2

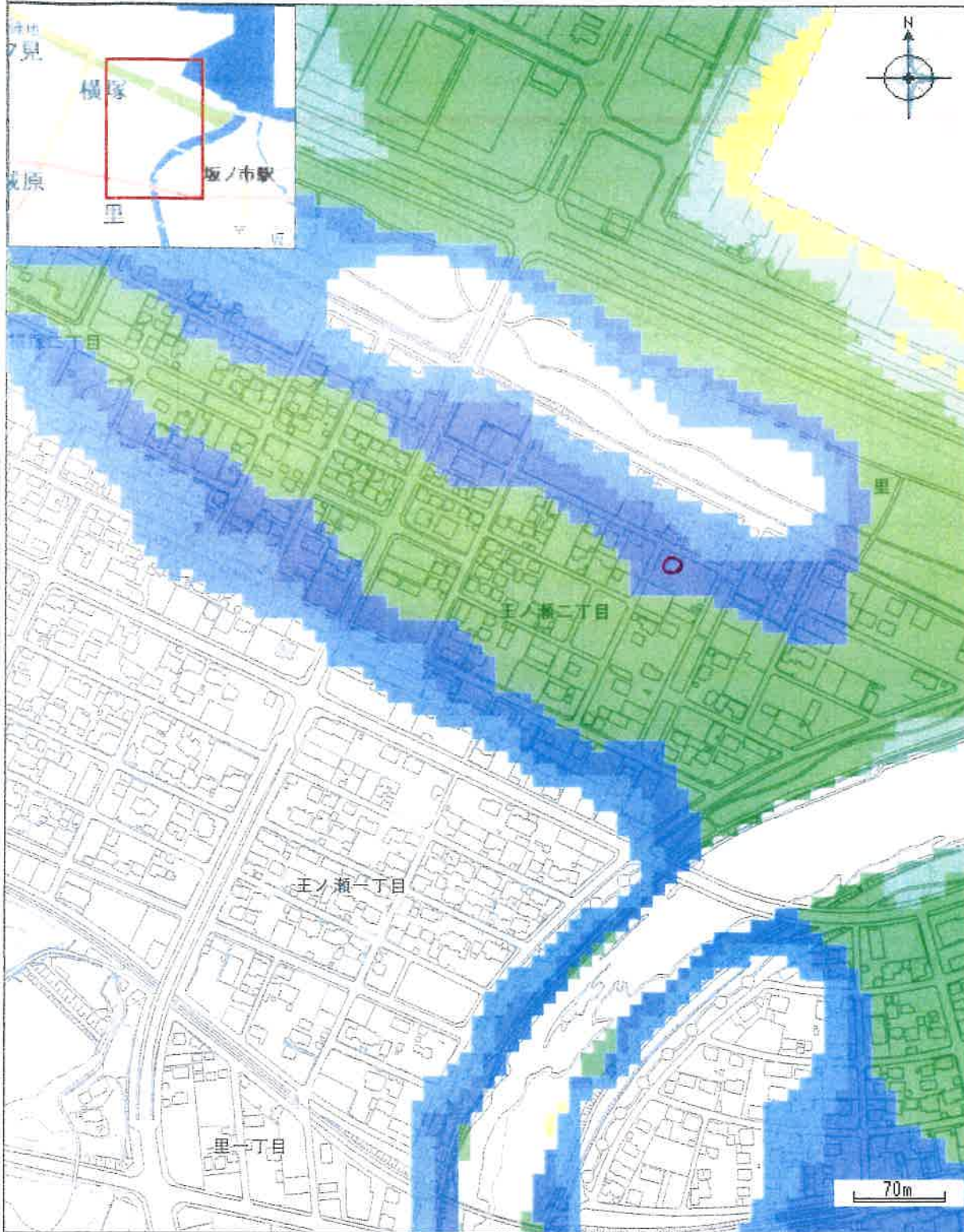


印刷日時:2024/03/23 18:35:14

津波ハザードマップ

中心地 | 大分市王ノ瀬2丁目 付近

資料 3



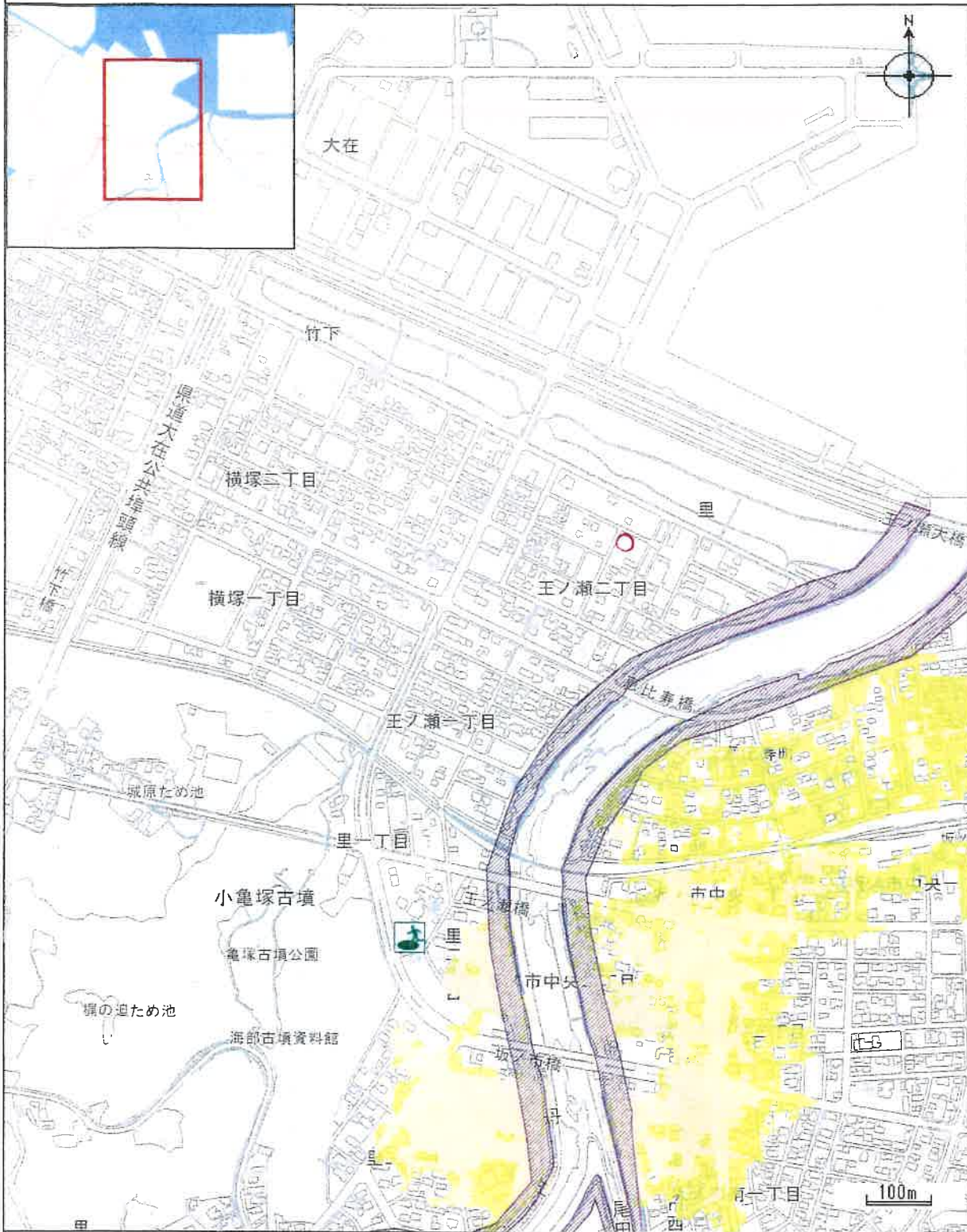
0m以上 ~ 0.5m未満	0.5m以上 ~ 1m未満	1m以上 ~ 2m未満	2m以上 ~ 3m未満
3m以上 ~ 4m未満			

印刷日時:2024/03/23 18:37:06

洪水ハザードマップ

中心地 | 大分市王ノ瀬1丁目 付近

資料4



- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満
- 家屋倒壊（県河川）
- 緊急避難場所兼避難所

印刷日時:2024/03/23 18:48:08

ホーム

防災情報

各種データ・資料

地域の情報

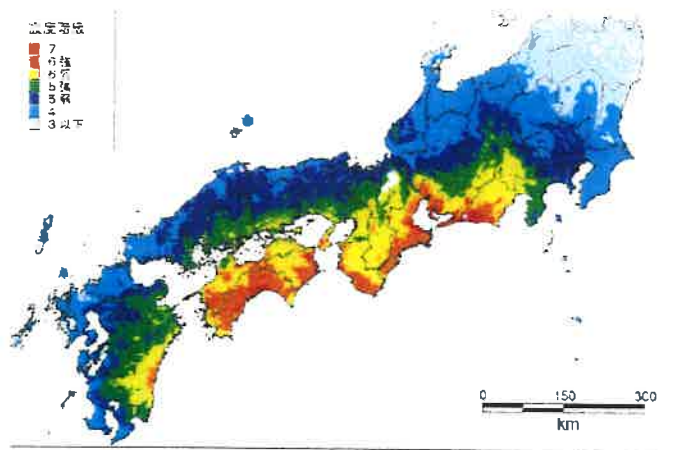
各種申請・ご案内

ホーム > 知恵・解説 > 南海トラフ地震について > 南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ

南海トラフ地震で想定される震度や津波の高さ

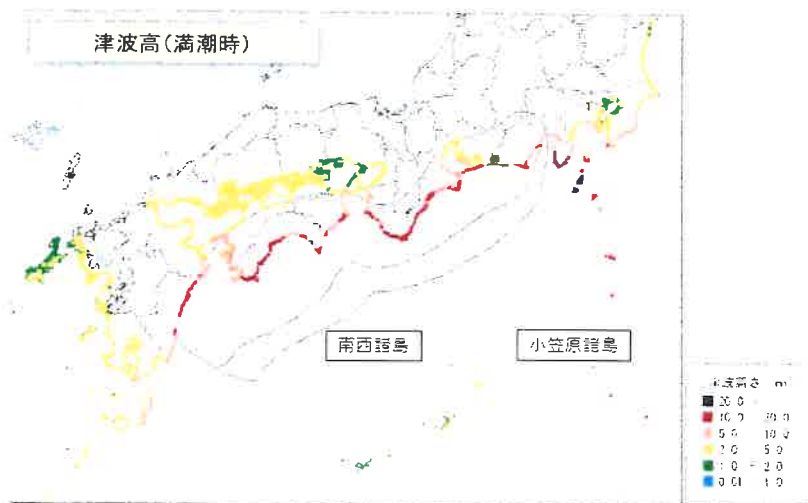
政府の中央防災会議は、科学的に想定される最大クラスの南海トラフ地震（以下、「南海トラフ巨大地震」という）が発生した際の被害想定を実施しています。

この被害想定によれば、南海トラフ巨大地震がひとたび発生すると、静岡県から宮崎県にかけての一部では震度7となる可能性があるほか、それに隣接する周辺の広い地域では震度6強から6弱の強い揺れになると想定されています。また、関東地方から九州地方にかけての太平洋沿岸の広い地域に10mを超える大津波の襲来が想定されています。



南海トラフ巨大地震の震度分布

（強震動生成域を陸側寄りに設定した場合）



南海トラフ巨大地震の津波高

（「駿河湾～愛知県東部沖」と「三重県南部沖～徳島県沖」に「大すべり域+超大すべり域」を2箇所設定した場合）

「南海トラフ巨大地震の被害想定（第二次報告）」（中央防災会議, 2013）

▶ [南海トラフ巨大地震の震度分布、津波高等及び被害想定について（内閣府防災ホームページへ）](#)

なお、この被害想定は、発生過程に多様性がある南海トラフ地震の一つのケースとして整理されたものであり、実際にこの想定どおりの揺れや津波が発生するというものではありません。また、南海トラフ巨大地震は、千年に一度あるいはそれよりも発生頻度が低く、次に発生する南海トラフ地震を予測したものではないことに留意が必要です。

▶ [南海トラフ地震について](#)

▶ [南海トラフ地震とは](#)

▶ [想定される震度や津波の高さ](#)

▶ [南海トラフ地震に関連する情報](#)

▶ [現在発表している情報と発表履歴](#)

▶ [情報の種類と発表条件](#)

▶ [南海トラフ地震の予測可能性の現状と情報の運用開始に至る経緯](#)

▶ [過去の経緯（東海地震に関連する情報等）](#)

▶ [南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会](#)

▶ [南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会とは](#)

▶ [南海トラフ周辺の地震活動](#)

▶ [南海トラフ周辺の週間地震活動概況](#)

▶ [最新の地震活動状況（速報）](#)

▶ [毎日の地震活動](#)

▶ [地震の活動状況に関する各種資料](#)

▶ [用語の解説](#)

